



優秀賞 (総合部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

FLAT HIRO-O

タイプ

持家共同建

講評

なんと言っても、LDKの中央にあるステージフロアという家具が出色。テレビを見ながら寝ころべるソファであり、食事や来客時の8人掛けあるいは4人掛けのテーブルにも変態できる抽斗付きの家具である。家具は大工工事。



(A) 改築前のLDKスペース。



(B) 改築前の洗面所と浴室。



(D) ダイニングテーブルを下げた状態。テーブルが収まっているところ以外は収納。



(E) 洗濯機、タオルや小物が入る大きな収納と開放的な浴室。



客用ベッド



4人テーブル



8人テーブル



(C) ダイニングテーブルとソファが一体化した家具。ダイニングテーブルは一脚だけを上げた状態。



(F) プライベートなリビングでもあるギャリースペース、ダイニングとの構造壁一面には収納を設けている。

(G) ガススプリング式の収納テーブル。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《既存プラン》
 この築20年のマンションを購入した夫婦は、和室とリビングを仕切る壁を取り除いて、狭いLDKを拡張する予定であった。しかしながら、その壁は構造壁で撤去できないため、既存のリビング、キッチン、ダイニングを同じ面積の中でどのようにアレンジし直せば、広がりのある空間にできるかがこの改修工事のテーマとなった。

《提案》
 既存LDKにキッチン、ダイニングテーブル、ソファを普通に置く
 特に配慮した住宅性能：躯体壁のためにプランをあまり変更できなくても、家具レベルの工夫で、空間を造り変えることを目指した。

データ		構造/築後年数		鉄筋コンクリート		造/年	
所在地	東京都渋谷区	構造/築後年数	鉄筋コンクリート	造/年	20	年	
該当工事面積	69 m ² /総工事床面積	69 m ²	該当部分工事費	1,000 万円/総工事費	1,000 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人/65歳以上： 人/15歳未満： 人/ベッド：						
設計者	(株)キー・オペレーション	担当者	小山 光				
施工者	男鹿建業	担当者	斉藤 祥崇				

